

コラム～安全だより～



日没時間が早まる秋から冬にかけては、視界が悪くなることで事故が起こりやすくなります。経路途中では、周囲の状況に十分注意し、安全確認を徹底しましょう。

令和8年10月（通算第166号）

発行:公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)

夕暮れ時の交通事故に注意しよう！

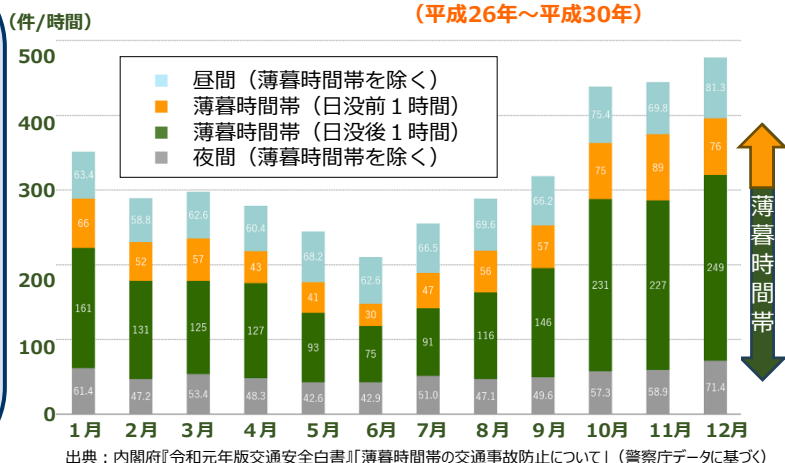
10～12月は交通事故発生件数が最も多くなる時期です

都内シルバー人材センターにおける令和7年度の経路途中の傷害事故は227件発生しており、交通手段別では「自転車利用時（電動自転車・バイクを含む）」が全体の64.8%を占めています。事故は就業場所からの帰宅途中に発生するケースも多く、下図のとおり、日没が早まる時期は死亡事故が増加します。復路では特に周囲の安全に注意しましょう。

<都内シルバー人材センターの復路での自転車事故事例>

- 走行中、夜間で路面の見通しが悪く、縁石に乗り上げ転倒。
- 帰宅途中、歩道の段差に乗り上げた際にタイヤを取られ、自転車ごと転倒してガードレールに衝突。
- 自転車でT字路を左折しようとした際、進行方向から直進してきた自転車と接触し転倒（ヘルメット未着用）。

■ 交通事故における月別・時間帯別の時間当たり死亡件数
(平成26年～平成30年)



「ちょっと待て 急ぐ気持ちに ブレーキを！」※

※令和8年度東京都シルバー人材センター安全就業標語最優秀作品より

就業帰りは身体の疲れや、急いで帰ろうという気持ちが思わぬ事故につながることも。交通ルールを守り、焦らずゆとりを持って行動しましょう。



- 自転車では必ずヘルメットを着用。
 - 夕暮れ時には早めにライトをつける。
 - 信号のない交差点では、必ず一旦停止をし、左右後方の安全確認をしてから進む。
 - 人ごみや障害物の多い場所では、バランスを崩しやすいので、自転車を降りて歩く。
 - 雨天や強風などの悪天候時は自転車運転を控える。雪の日や道路が凍結している日は絶対に乗らない。
- 出典：安全のしおり

<夕暮れ時に効果的！> ● 明るい服を着る ● 反射材を身に付け、視認性を高める